

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	丹下 悠史	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
本演習では、専門演習Ⅰ、Ⅱで設定した自身の研究テーマに沿って卒業研究を実施し、研究調査能力の基礎を身につけることを目的とする。前期にあたる専門演習Ⅲでは、調査の設計と実施およびその結果の分析を主に行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式により行う。 フィールドワーク、ディスカッション、プレゼンテーションといった一連の研究サイクルに取り組む。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	3年次の活動を振り返り、ゼミの内容、進行の仕方、目標等を確認する。	☐
第2回	調査計画（1）	研究の目的、方法（対象と手法）等、調査計画を作成する。	☐
第3回	調査計画（2）	前時の調査計画を相互検討し、修正する。	☐
第4回	調査の実施（1）	第4回、第5回にかけて担当教員の授業等の時間を使い調査を実施する。	☐
第5回	調査の実施（2）	第4回、第5回にかけて担当教員の授業等の時間を使い調査を実施する。	☐
第6回	分析方法の検討	調査により得られたデータを分析する方法を学ぶ。	☐
第7回	データの分析	前時に学んだ方法を用いて調査データを分析する。	☐
第8回	中間報告会	調査の結果を相互に報告、検討する。	☐
第9回	課題の整理	前時の内容をまとめ、研究の改善案をまとめる。	☐
第10回	分析方法の再検討	改善案に従い分析のやり直しをする。	☐
第11回	報告資料作成の方法	プレゼンテーションおよび論文の形での報告資料の作成方法を学ぶ。	☐
第12回	報告資料の作成（1）	第12回、第13回にかけて前期末の報告会に向けた資料を作成する。	☐
第13回	報告資料の作成（2）	第12回、第13回にかけて前期末の報告会に向けた資料を作成する。	☐
第14回	研究報告会（1）	第14回、第15回にかけて3年生と合同の研究報告会を行う。	☐
第15回	研究報告会（2）	第14回、第15回にかけて3年生と合同の研究報告会を行う。	☐

■授業時間外学習 (予習・復習) の内容(Preparation/review details)
個人研究のため授業担当者とメールや個別指導等でやりとりをしながら課題に取り組む (事前・事後それぞれ2時間ずつを目安とする)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
レポートおよびプレゼンテーションは、授業内で議論・検討を行い、授業担当者が添削・助言を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	自身が設定した問題の解決のために適切な調査・分析方法を考え、実行できる。 研究の成果を学術的作法にのっとりプレゼンテーションや論文の形で表現できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) ゼミ内プレゼンテーション (30%) 期末に課す研究報告レポート (50%)				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし（個人の関心に合わせ授業中に適宜紹介する）	
2		
3		
4		
5		